

参選 650万票 得票率 10%以上、比例議席 選挙区の現有議席絶対確保 愛知など議席増に挑戦

日本共産党国會議員 東海ブロックニュース

2025年 2月 27日 第4号

日本共産党国會議員団東海ブロック事務所
名古屋市中区新栄三丁目十二番二十五号

電話 〇五二(二六四)〇八三三
FAX 〇五二(二六四)〇八五〇
Eメール tokahle@yhb.ne.jp

4月の議員選挙、7月の参院選挙、ともに勝利を 井上氏 静岡 各地で訴え



井上哲士参院議員・比例候補は先週の伊豆の国市(田中正男、みよし陽子両候補、ともに現職)に続いて、23日、4月に議員選挙がおこなわれる静岡県袋井市、森町、磐田市を駆け巡り、議員選挙と7月の参院選挙の勝利を訴えました。

袋井市では竹むら真弓(現)、高橋よしひろ(前)、森町では西田あきら(現)、磐田市では、ねづ康弘、高梨としひろ(ともに現)の各予定候補と演説しました。磐田市のつどいには静岡選挙区の鈴木ちか予定候補も参加しました。

企業・団体献金禁止を 朝まで生テレビで井上議員が主張

日本共産党の井上哲士参院議員は23日放送のBS朝日「朝まで生テレビ」に出演し、各党の代表と討論しました。これまでの金権腐敗政治への対策には“抜け穴”があったと指摘し、金権腐敗の温床である企業・団体献金の禁止が必要だと訴えました。

井上氏は、「企業が大きな経済力を持って献金をすることは、政治がゆがめられ国民の参政権が侵害される」「公開した場で堂々と政治がゆがめられている。企業・団体献金は禁止すべきだ」と強調しました。

また、裏金事件の真相解明を巡り旧安倍派の会計責任者の聴取に関する問題では、「呼ばれる参考人が、あれこれ注文を付けることはあり得ない。初めに赤旗で報道した日本共産党に質問させないことを主張しました。」



井上氏は、「企業が大きな経済力を持って献金をすることは、政治がゆがめられ国民の参政権が侵害される」「公開した場で堂々と政治がゆがめられている。企業・団体献金は禁止すべきだ」と強調しました。



大幅賃上げを 愛知自動車デモもとむら氏があいさつ

もとむら伸子衆院議員は、23日、名古屋市内で25春闘勝利をめぐり愛知自動車デモに参加しました。(右写真)

トラックやタクシーが「物価高に打ち勝つ大幅賃上げ、燃料高騰抑止政策で交通運輸を守ろう！」などの横断幕を車に貼り付け、名古屋市港区の港湾エリアから愛知県庁までパレードしました。

もとむら氏は、物流を支えるみなさんやタクシー業界など燃料高騰で経営が圧迫されています。少なくとも他の産業と同じように賃上げを実現しなければなりません。働くみなさんにちゃんと利益が回る実効あるフェアなルールをつくらせるために力を合わせましょう！大幅賃上げのためにも力を合わせましょう！と訴えました。

被団協・田中氏に質問 もとむら氏 衆院予算委 中央公聴会

もとむら伸子議員は、25日の衆院予算委員会の中央公聴会で、ノーベル平和賞を受賞した日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)の田中熙巳(てるみ)代表委員に質問し、意見を聞きました。

田中氏は意見陳述で、核使用が前提の政府の「核抑止力論」を批判し、核兵器禁止条約に参加する政府の実現を訴えました。



もとむら氏は、

「核抑止力論」や核兵器禁止条約参加を拒み続ける日本政府の姿勢に関する諸外国の反応について質問。田中氏は「核抑止力論」について「核兵器の使用で抑止しようとするのは、間違っている」と断言。海外では、日本政府が同条約に進んで参加すべきだといわれており、日本政府の姿勢は「一番悔しいし、恥ずかしい」とのべ、核廃絶という「私たちの願いをちゃんと聞いてくれる政府をつくられていないところが一番の根源ではないか」と述べました。

岐阜・各務原市議選 2議席確保
23日投開票された岐阜県各務原市議選で、新人の波多野優子、城戸隆志両氏が当選しました。